

平成21年度

北海道局関係予算  
内示要旨

20年12月20日  
国土交通省北海道局

問い合わせ先  
国土交通省北海道局予算課  
河津(52303)、山上(52312)  
代表 03-5253-8111  
直通 03-5253-8778

1. 北海道局関係予算内示総括表

(単位：百万円)

事 項	前 年 度 予 算 額 (A)	内 示 額 (B)	対前年度 倍 率 (B/A)	備 考
I 北海道開発事業費	610,026	572,678	0.94	1 特定開発事業推進費等には、北海道特定地域連携事業推進費が含まれている(前年度予算額10,000百万円、内示額10,000百万円)。
1 治山治水	123,680	119,608	0.97	
2 道 路	107,575	104,650	0.97	
3 港 灣	11,745	10,782	0.92	
4 住 宅	4,360	4,176	0.96	2 その他一般行政費等には、北方領土隣接地域振興等事業推進費補助金が含まれている(前年度予算額100百万円、内示額100百万円)。
5 下 水	204,622	180,533	0.88	
6 農 業	29,723	29,639	1.00	
7 森 林	22,499	21,060	0.94	
8 特 定	7,224	8,579	1.19	3 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
II 北海道災害復旧事業等工事諸費	56,699	49,522	0.87	
III 北海道開発計画費	17,904	16,218	0.91	
IV アイヌ伝統等普及啓発等経費	38,795	33,304	0.86	
V その他一般行政費等	37,709	32,182	0.85	
合計	1,086	1,122	1.03	
1 治山治水	35,769	34,187	0.96	
2 道 路	22,400	21,183	0.95	
3 港 灣	5,238	4,977	0.95	
4 住 宅	1,405	1,523	1.08	
5 下 水	6,726	6,504	0.97	
6 農 業	108,377	107,747	0.99	
7 森 林	38,376	38,662	1.01	
8 特 定	5,928	6,615	1.12	
II 北海道災害復旧事業等工事諸費	32,448	32,047	0.99	
III 北海道開発計画費	12,780	12,780	1.00	
IV アイヌ伝統等普及啓発等経費	28	28	0.99	
V その他一般行政費等	610	509	0.83	
合計	123	128	1.04	
1 治山治水	10,132	10,039	0.99	
2 道 路	620,919	583,382	0.94	

## 2. 平成21年度北海道開発予算の内示概要

北海道の資源・特性を活かして、我が国が直面する課題の解決に貢献していくとともに、地域の活力ある発展を図るため、「新たな北海道総合開発計画」（平成20年7月4日閣議決定）に掲げられている主要施策に沿って、北海道開発に係る所要の事業等を総合的に推進する。特に、我が国経済が景気後退局面にある中で北海道は更に厳しい状況にあることを踏まえ、2度にわたる平成20年度補正予算により需要拡大を図るとともに、北海道の「底力」を発揮できるよう、食料供給力の強化、低炭素社会の構築、防災・減災対策の推進等に重点的に取り組む。

### ○ 平成21年度北海道開発予算

財務省原案内示額 5,834億円(対前年度比0.94倍)

(注) 重要課題推進枠分は含まない。以下財務省原案内示額について同じ。

参考：平成20年度北海道開発予算 6,209億円(対前年度比0.97倍)

### ○ 主要施策

#### (1) グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

農水産物の生産性の維持・向上に資するほ場の大区画化等の推進、安全で高品質な農水産物の生産を可能とする基盤整備、食と観光の連携による中国との経済交流促進モデルの構築に関する調査の実施等

#### (2) 地球環境時代を先導し自然と共生する持続可能な地域社会の形成

ラムサール条約湿地等における自然再生事業の実施、北海道に豊富なバイオマスから生成した生分解性素材の地域内利用に関する調査の実施、森林の整備・保全等

#### (3) 魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり

札幌市における都市再生プロジェクトの推進、駅周辺整備やまちなか居住の推進、広域レクリエーションの拠点となる大規模公園等の整備、高齢者や子育て世帯に配慮した公営住宅の供給促進等

#### (4) 内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上

北海道の骨格を形成する高規格幹線道路・地域高規格道路網の整備、新千歳空港の国際旅客ターミナルの整備、港湾における多目的国際ターミナル等の整備等

#### (5) 安全・安心な国土づくり

根幹的な治水施設の整備、災害時要援護者施設等の保全、地震・津波対策の推進、地域との協働による総合的な防災・減災対策の推進等

### ○ 投資の重点化

#### (1) 食料供給力の強化 1,291億円(対前年度比1.02倍)

国際的な食料価格の高騰等世界的な食料需給の逼迫が懸念されている中で、広大な農地を有する北海道の食の供給基地としての潜在力を十分に発揮させることにより、食料供給力の一層の強化とともに、基幹産業である農水産業の活性化を図る。

生産性向上や安全で高品質な農産物の生産を可能とする農業基盤の整備、輸入飼料に依存しない酪農経営の確立に向けた草地整備、水産資源の生産力向上を図る藻場・干潟等の整備、衛生管理の高度化を図るための漁港整備、高規格幹線道路や港湾の整備

#### (2) 低炭素社会の構築 78億円(対前年度比1.20倍)

地球環境問題への対処が人類共通の重要課題となる中で、バイオマス資源が豊富に存在する等の北海道の優れた資源・特性を活用し、CO<sub>2</sub>排出量の削減、地球環境負荷の少ないエネルギーの利活用等を推進する。

北海道に豊富なバイオマスから生成した生分解性素材の地域内利用に関する調査の実施、CO<sub>2</sub>の吸収等多面的機能の持続的発揮に向けた森林の整備・保全、渋滞解消のための連続立体交差事業の実施等

#### (3) 防災・減災対策の推進 113億円(対前年度比1.35倍)

北海道は、自然災害に対していまだ脆弱な地域であることから、特に喫緊の課題である避難路・避難場所の確保や防災拠点の耐震化を中心とした防災・減災対策を推進し、地域社会の安全・安心を確保する。

災害時要援護者施設や避難場所・避難路の保全、山地災害の未然防止、港湾における耐震強化岸壁の整備、河川防災ステーション・水防拠点の整備、防災公園の整備促進等

## 北海道開発事業費（一般公共事業）

○ 平成21年度 財務省原案内示額 5,727億円（対前年度比0.94倍）

参考：平成20年度北海道開発事業費 6,100億円（対前年度比0.97倍）

[ 全国一般公共事業費 6兆9,482億円（対前年度比1.04倍） ]

（地域活力基盤創造交付金を除くと 6兆0,082億円（対前年度比0.90倍））

参考：平成20年度全国一般公共事業費 6兆6,625億円（対前年度比0.97倍）

○ 具体的な事業は、主要施策ごとの主な事業・調査（P6～P10）参照

○ 横断的な政策テーマへの機動的・重点的な対応（特定開発事業推進費等）

128億円（対前年度比1.00倍）

- ▷ 特定テーマに係る総合開発事業の重点的・集中的な推進（北海道特定特別総合開発事業推進費）
- ▷ 補助メニューを活用し、地域の自主性・裁量性を活かした北海道・市町村等の連携による地域づくりを推進、あわせて道州制に向けた諸検討に活用（北海道特定地域連携事業推進費）
- ▷ 複数の公共事業等を総合的に推進するための調査の実施（北海道特定開発事業推進調査費）

## 行政経費（公共事業以外の施策）

○ 北海道開発計画費 5.1億円（対前年度比0.83倍）

北海道の優れた資源・特性を活用し、地域の課題解決を図るとともに、我が国の課題解決にも貢献しうる先駆的・実験的なアイデアや構想等について、地域の多様な主体と連携しつつ、調査を実施する。

- ▷ 北海道に豊富なバイオマスから生成した生分解性素材の地域内利用に関する調査 新規 (0.6億円)
- ▷ 食と観光の連携による中国との経済交流促進モデルの構築に関する調査 新規 (0.6億円)
- ▷ 環境負荷の低減を図る観光地に対する客観評価体系の構築に関する調査 新規 (0.3億円)
- ▷ 変化する広域分散型社会への適用モデル構築に関する調査 新規 (0.2億円)

○ アイヌ伝統等普及啓発等経費 1.3億円 (対前年度比1.04倍)

アイヌ文化振興法に基づき、アイヌの伝統及びアイヌ文化に関する普及啓発等を図るための施策を進める。白老<sup>しらおい</sup>地域及び平取<sup>びらとり</sup>地域においてアイヌの伝統的生活空間(イオル<sup>\*</sup>1)の再生に向けた取組を推進するとともに、衣装や工芸品等アイヌの伝統・文化に関連する情報を一元的に収集、整理し、広く一般に利用可能なデータベースを新たに構築する。

○ 北方領土隣接地域振興等事業推進費補助金 1.0億円 (対前年度比1.00倍)

北海道が作成した第6期振興計画を踏まえ、北方領土隣接地域(1市4町<sup>\*2</sup>)の振興及び住民の生活の安定を図るため、同地域の産業振興及び交流推進に資する事業を促進する。

○ 北海道開発の推進のための研究開発

独立行政法人土木研究所(寒地土木研究所)において、中期目標及び中期計画に基づき、引き続き積雪寒冷に適応した社会資本整備や農水産業の基盤整備に必要な研究開発等、北海道開発の推進における技術的課題の解決に資する研究開発を行う。

\*1 森林や水辺等において、アイヌ文化の保存・承継・発展に必要な樹木、草本等の自然素材が確保でき、その素材を使って、アイヌ文化の伝承活動等が行われるような空間

\*2 根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町

### 3. 主要施策ごとの主な事業・調査

#### (1) グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

##### ① 農水産物の生産性の維持・向上

- ・ ほ場の大区画化と農地の利用集積のための国営農地再編整備事業の実施
- ・ 農業用排水路等の機能を維持するための国営造成土地改良施設整備事業の実施
- ・ 輸入飼料に依存しない酪農経営の確立に向けた草地整備事業の実施
- ・ 水産資源の生産力向上を図る藻場・干潟等の整備（島牧地区、奥尻地区等）

##### ② 安全で高品質な農水産物の生産

- ・ 衛生管理の高度化を図るための漁港の整備（ウトロ漁港（斜里町）等）
- ・ 畑地かんがい用水の確保や排水改良を行うための国営かんがい排水事業、直轄明渠排水事業の実施

#### 農業農村整備事業に関する新規着工・調査地区一覧

(新規着工(直轄)：7地区)

事業名	地区名
国営農地再編整備事業	かみしべつ なし 上士別地区、中鹿追地区
国営造成土地改良施設整備事業	きたみ ひがし 北見地区、東地区
国営かんがい排水事業	あびらがわ びじょ 安平川（二期）地区、美女地区
直轄明渠排水事業	としべつがわさがん 利別川左岸地区

(新規調査(直轄)：5地区)

事業名	地区名
国営農地再編整備事業	うりゆうしょかん いまかね きたの 雨竜暑寒地区、今金地区、北野地区
国営かんがい排水事業	とうまながやまようすい 当麻永山用水地区
直轄明渠排水事業	とみあき 富秋地区

### ③ 国際競争力の高い魅力ある観光地づくり

- ・ 食と観光の連携による中国との経済交流促進モデルの構築に関する調査の実施 **新規**  
〔中国との観光交流の促進とともに、食と観光の連携による経済交流促進のための先駆的なビジネスモデルの構築に関して調査する。また、中国へ輸出される水産物を豊富に供給するオホーツク海の環境保全に関して調査する。〕
- ・ 環境負荷の低減を図る観光地に対する客観評価体系の構築に関する調査の実施 **新規**  
〔観光地における環境負荷の低減を図る取組について、国際的にも通用しうる客観評価  
・ 格付けを行えるよう、総合的な評価体系の構築に関して調査する。〕
- ・ 道内の国際的観光地への玄関口となる拠点都市における快適な歩行環境の整備（札幌市）
- ・ 観光振興の拠点となる旅客船ターミナルの整備（釧路港等）

## （２）地球環境時代を先導し自然と共生する持続可能な地域社会の形成

### ① 自然共生社会の形成

- ・ ラムサール条約湿地等における自然再生事業の実施（釧路湿原等）
- ・ 世界自然遺産「知床」及び周辺地域における自然環境の保全（網走川、野付崎海岸<sup>のつけさき</sup>等）
- ・ 都市内における歴史的遺産を活かした親水空間等の整備（札幌市等）
- ・ 自然環境の保全に資する下水道の整備促進（共和町<sup>きょうわちょう</sup>等）
- ・ 水生生物の生息環境との調和に配慮した防波堤の整備（釧路港）

### ② 循環型社会の形成

- ・ 北海道に豊富なバイオマスから生成した生分解性素材の地域内利用に関する調査の実施 **新規**  
〔これまで廃棄されていた食品加工残渣等のバイオマスを、地中で分解される特性を有する生分解性素材として地域内で有効活用する方策に関して調査する。〕
- ・ ゴミの資源化を行うリサイクル施設等の整備促進（北広島市<sup>きたひろしまし</sup>等）



### ③ 低炭素社会の形成

- ・ CO<sub>2</sub>の吸収等多面的機能の持続的発揮に向けた森林の整備・保全
- ・ 船舶への陸上電力供給によるCO<sub>2</sub>等の削減の推進
- ・ 都市内の渋滞解消のための連続立体交差化、ボトルネック区間の拡幅、交差点改良等の推進
- ・ 下水処理水を活用した流雪溝の整備促進（札幌市）

## （3）魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり

### ① 都市における機能の強化と魅力の向上

- ・ 札幌市における都市再生プロジェクトの推進（札幌駅前通地下歩行空間整備事業、創成川通アンダーパス連続化事業（札幌市））
- ・ 駅周辺整備やまちなか居住の推進（北彩都あさひかわ（JR旭川駅周辺鉄道高架事業、土地区画整理事業、忠別川水辺プラザ）（旭川市）、JR函館本線連続立体交差事業（江別市）等）

### ② 活力ある地域社会モデルの形成

- ・ 変化する広域分散型社会への適用モデル構築に関する調査の実施 新規  
〔人口減少・少子高齢化が進む広域分散型社会の課題について、地域住民を中心に自治体・NPO・企業等が連携し解決を図るような地域社会モデルの構築に関して調査する。〕
- ・ 多様で個性的な地域づくりに向けたシーニックバイウェイ北海道の推進
- ・ 広域レクリエーションの拠点となる大規模公園等の整備（国営滝野すずらん丘陵公園（札幌市）、道立噴火湾パノラマパーク（八雲町）等）
- ・ 厳しい情勢にある離島の活性化に向けた社会資本整備の推進（利尻島、礼文島等）

### ③ 誰もが暮らしやすい生活環境の実現

- ・ バリアフリー化等の環境整備による高齢者が暮らしやすい公的賃貸住宅の供給促進（美幌町等）
- ・ 子育て世帯の優先入居を行うとともに地域に子育て支援サービスを提供できる公営住宅（子育て支援住宅）の供給促進（函館市等）
- ・ 利用者、企業等との協働による冬期歩行者転倒防止策の推進

## (4) 内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上

### ① 高速交通ネットワークの強化

- ・ 北海道の骨格を形成する高規格幹線道路・地域高規格道路網の整備（旭川紋別自動車道（上川上越道路、かみかわかみこし白滝丸瀬布道路）等）
- ・ 国際交流機能向上のための国際旅客ターミナルの整備（新千歳空港）
- ・ 既存橋梁の長寿命化を図っていくため、定期的な点検に基づく計画的な橋梁補修の実施
- ・ 新幹線新駅（新函館駅（仮称））へのアクセス向上や駅周辺整備（はこだてしんそとかんじょうどうろ函館新外環状道路、北斗市新幹線新駅周辺土地区画整理事業等）

### ② 国際競争力を高める物流ネットワークの強化

- ・ 国際標準コンテナ車が通行可能な幹線道路ネットワークや主要な空港・港湾へのアクセス道路の整備
- ・ 物流効率化のための多目的国際ターミナル等の整備（苫小牧港、十勝港、白老港等）
- ・ 臨港地区と幹線道路間の臨港道路の整備（室蘭港、函館港等）

### ③ 冬期交通の信頼性向上

- ・ 積雪寒冷地の空港における就航率向上のための滑走路改良やI L S（計器着陸装置）双方向化等の実施（稚内空港、新千歳空港、女満別空港）
- ・ 都市部における冬期間の渋滞を緩和するための交差点部における重点的な除排雪の実施

## (5) 安全・安心な国土づくり

### ① 頻発する自然災害に備える防災対策の推進

- ・ 千歳川流域の治水対策を始めとする根幹的な治水施設の整備（石狩川、十勝川等重要水系における河川整備、多目的ダムの建設）
- ・ 火山噴火や集中豪雨による土砂災害への対策の推進（たるまえさん樽前山等の遊砂地整備、とよひらがわ豊平川等の砂防えん堤整備等）、山地災害の未然防止に必要な治山施設等の整備
- ・ 土砂災害危険箇所に隣接する病院や学校等災害時要援護者施設等を保全す

- るための砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業の促進（室蘭市、新ひだか町等）
- ・ 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進計画に基づく地震・津波対策の推進（耐震強化岸壁の整備（苫小牧港、釧路港）、海岸保全施設の強化、津波からの避難場所等の保全、空港施設の耐震性の向上等）
  - ・ 通行規制区間等における岩盤斜面对策、防雪対策、橋梁の耐震補強等による安全で信頼性の高い道路ネットワークの整備（一般国道229号積丹<sup>しゃこたん</sup>防災等）
  - ・ 災害発生時に避難場所及び復旧・復興活動の拠点となる防災公園の整備促進

## ② 総合的な防災・減災対策の推進

- ・ 市町村が行うハザードマップ作成への支援、住民参加型の防災訓練の実施、防災教材を用いた地域の防災教育への支援、防災情報共有システムへの市町村等の参加促進、防災情報収集のための機器の整備等
- ・ 地域の防災事業と連携した河川防災ステーション・水防拠点の整備（札幌市等）

## ③ 交通安全対策の推進

- ・ 交通事故の多発区間における集中的な事故対策事業の実施、北海道に多い形態の死亡事故対策事業等の実施（歩道の整備、中央帯の整備等）